

## 第5回 京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会 議事録

日時：平成30年5月7日 14:00～15:40

場所：京田辺市役所 市役所305会議室

### 〈出席者〉

櫻井委員、市田委員、鈴木委員、荒川委員、米田委員、岩本委員、田中委員、太田委員、森田委員、西村委員、山本委員、柳生委員、西田委員

(欠席：郡嶋委員長、千田職務代理者、山崎委員、吉房委員)

### 〈次 第〉

1. 開会
2. 司会役あいさつ
3. 報告事項  
パブリックコメントの実施結果
4. 審議事項  
(1) 計画(案)について  
(2) 概要版について
5. 閉会

### 〈 1. 開会〉

事 務 局：委員会を開催する前に事務局よりお詫びをさせていただきます。本来、この第5回推進委員会は前年度の2月頃に開催を予定していましたが、事務局の調整不足により時間がかかってしまい開催が遅くなりました。誠に申し訳ございません。次に、委員の皆さまに検討頂きたいことがあります。本日、郡嶋委員長が都合により欠席するため千田職務代理者に進行をお願いしていましたが、急遽欠席することになりました。このまま継続して委員会を開催するか中止にするかご検討をお願いします。

委 員：委員の皆さんも集まっているのでこのまま開催でよいのではないかと。

同：異議なし。

事 務 局：ありがとうございます。皆さまの承認を頂けたという事で、このまま第5回推進委員会を開催したいと思います。次に司会進行役を立てさせていただきたいのですが、どなたか立候補者はいますでしょうか。

委 員：事務局一任。

事 務 局：それでは、経済環境部環境課部長の森田委員に司会役をお願い致します。

## 〈 2. 委員長あいさつ 〉

司会の森田委員あいさつ（省略）

## 〈 3. 報告事項 〉

パブリックコメントの実施結果

〈事務局より説明〉

委員：何故枚方市のごみも一緒に燃やす計画にしたのか、説明が不足しているのではないのでしょうか。枚方市のごみを燃やすから市の環境が悪くなるといった問題ではありません。国の補助金を貰うには京田辺のごみだけでは不足しており、枚方のごみも含めて燃やすことになったと聞いています。24時間稼働すると発電ができ、この地域全体としては、煙突を減らすこととなります。

委員：今、京田辺市と枚方市のごみ焼却所が二つ並んでおり、それを一本にするだけなので、地域としての排出量は変わりません。効率よく発電するには、広いエリアでごみを収集し、エネルギーを生み出す必要があります。

司会委員：ごみ施設に関する説明は広報誌や環境アセスメントの説明会でしています。24時間燃やすことによって、発電以外にもダイオキシン類の発生を抑えることに繋がります。今、ダイオキシンも大きな問題となっており、それを基準以下で設定しています。

委員：考え方・対応という中で、地球温暖化対策を含め様々な環境に配慮したと書かれていますが、最新型の焼却所を導入することでどれだけの排出量を減らすことが出来るのか、数字的なものがあれば、教えていただきたい。

事務局：手元に資料がなく、分かりません。

委員：環境に配慮していますと書かれているので、ここで京田辺と枚方合わせてやると今よりこれだけCO<sub>2</sub>が抑えられるということを書いていただいたらよかったですと思って質問させていただきました。

司会委員：ごみ焼却所については当然エネルギーや環境に配慮したものになっているので、この考え方・対応からは外れてはなりませんし、今後総合的に進めていく予定です。

## 〈 4. 審議事項 〉

### (1) 計画（案）について

〈事務局より説明〉

委員：11 ページについて、基準年度の 2013 年度値が実排出係数に変更されたということですね。しかも現況年度の 2015 年値は 2015 年の実排出係数ということですね。

事務局：そうです。

委員：少しややこしいと思いました。全て 2013 年度の係数で排出量の変動を見た方が

良いのではないのでしょうか。

事務局：基準年度以降は係数を毎年変動させ算定するという事になっています。最新の係数で見ていくということです。

委員：係数の変動を勘案して削減目標が5%減ということですね。

事務局：そうです。

## (2) 概要版について

### 《事務局より説明》

委員：概要版は、ぱっと見て、興味をもってもらうことが重要だと思う。まだ文字が多い印象を受ける。この委員会に参加している方は皆専門的な方だが、65歳以上の人口が3分の1以上を占めるこの時代であまり細かいものを出したら捨てられてしまう可能性がある。これ以上割愛する必要はないが、見やすいものにしていただきたい。例えば、概要版の4ページに掲載されている家庭でできるエコ行動について、今は年間の節約費の下にCO<sub>2</sub>の削減量が書かれているが、これを節約費の後に括弧で削減量を記載すればもっと余白ができ、見やすくなると思う。

委員：4ページに節約費が書いてありますが、年間450円では節約というには効果が小さいと思う。もう少し効果の大きいものに絞って書かないと、市民は興味を持たないと思う。

委員：CO<sub>2</sub>の削減量を先に書いて、金額を括弧に入れてはどうでしょうか。目的はCO<sub>2</sub>を減らすことなので。

事務局：今頂きました意見については、普及版に反映させる形で検討していきたいと思っています。

委員：4ページの白熱電球からLED電球に替えた場合、年間2,430円の節約になるというのはわかるのですが、電球1個のことですか。それとも何Wのものを何個替えるということですか。

委員：これについては詳細を書いた方がよいと思います。

委員：市民は節約できる金額にまず興味を持つので、そこからCO<sub>2</sub>の削減に繋がればよいのではないかと。

司会委員：今後普及版が仕上がったら、広報などを活用してわかりやすく市民へ情報発信していきたいと考えています。そのときに頂いた意見を参考に工夫させていただきたい。

委員：この区域施策編は、ホームページに掲載されるのは分かりますが、他にはどういったところに設置するのでしょうか。

事務局：行政サービス機関である住民センターや図書館、また、市役所のロビーなどにも置きます。

委員：この概要版のタイトルに『みんなでCO<sub>2</sub>ダイエット大作戦』という名前がついていますが、どういう風に普及していくかが全然表現されていません。大作戦

を進めるプロジェクトチームなどを立ち上げ、委員会とは別のところで具体的な普及を行う必要があると思います。

ただ概要版を作るだけでは取組が広がらないと思います。市民や企業がプロジェクトに入って一緒にやっていると普及に繋がらないと思います。

司 会 委 員：今後の普及方法については今ご意見あったような進め方、官民一体となった進め方の方がよいということですね。

委 員：概要版の名前を京田辺市地球温暖化対策実行計画ガイドラインにしてはどうでしょう。

司 会 委 員：この概要版は市民にも見て頂けるよう分厚い区域施策編を要約したものであり、具体的な取り組み方を示したガイドラインではありません。『みんなでCO<sub>2</sub>ダイエット大作戦』を進める中で具体的な内容を検討し、進めていきたいと考えています。

委 員：この概要版にも具体的な内容が沢山書かれていますし、とてもよいと思ったのですが。

委 員：先ほども言いましたが、字が小さく文字が多い。このままでは年配の方は目を通してくれない可能性があります。おっしゃるように、表紙にしても、もっと短いタイトルでよいのではないのでしょうか。せっかく素晴らしいもの作ってもらったのだから、一人でも多くの方に見て頂きたいと思います。

委 員：表紙に絵は入れないのでしょうか。表紙があまりにも公文書みたいに見えます。

事 務 局：この概要版の表紙につきましては、区域施策編の表紙のところを、タイトルを変えて利用する予定をしております。

委 員：概要版について、市民のお勧めなど沢山盛り込まれていますが、これまでの委員会で話が出たように、どうしたら市民に伝わりやすいのかといったことも考えていく必要があると思います。現状のものではそれがうまく伝わってこず、もったいないと思いました。

あと、最初のページに地球温暖化の説明がされており、目標は右下に小さくしか記載されておらず、長期的に地球を守っていこうという話も盛り込まれていません。このままでは、市民の関心が得られないのではと思います。最初のページもしくは表紙にもう少し惹きつけるものがあればもっと良くなるのではないのでしょうか。

委 員：市だけでは限界があると思います。これから普及版を作成し普及させるのであれば、もっと市民が具体的にどういう場で使うのかということを想定しながら作っていく必要があると思います。そうすれば内容がおのずと言われたような形になると思います。ぜひともチームを作って、これをいいものにしていただけたらと思います。

委 員：一緒に作っていくというのが一番大事なところですね。読むのは市民ですから。

委 員：先ほど言われていた家庭の取組について、排出量の削減量とお金どちらを主にするかという話で、本当は、目標的にはCO<sub>2</sub>削減なのでCO<sub>2</sub>を主にする必要が

あると思います。しかし、実際のところ、私は家庭のエコ診断の顧問を 100 件ほどやらせてもらっていますが、一般の方は CO<sub>2</sub>、例えば 1t 削減できましたといっても中々理解して頂けません。ただ、お金で年間何円削減できますという  
と、大体理解して頂けます。

委員：私もそう思います。あとは、削減目標-5%を達成するのに、私たちがどれだけ減らせばいいか分かると良いと思います。1年間で540円の節約をしたらCO<sub>2</sub>削減が11.0kgで、5%減らすには何と何をすればよいのか、これを見ても分かりません。この5%減らすということと取組がどう繋がるのかが分かりません。

委員：繋がると面白いと思います。4つの中から3つ選べば達成できるなど、分かりやすいと思います。

事務局：2ページのところに、目標達成するにはどれくらい減らす必要があるのかという  
ことで、必要な削減量を示しています。

委員：2ページと4ページは繋げた方がよいと思います。一世帯あたり年間これだけ節約すればいいというところに、もう一度5%減という文字を入れた方が分かりやすいと思います。

委員：2ページの数字は、3つともやる必要があるということですか。

事務局：そうです。5%減らすにはそれだけ取り組んでいく必要があります。

委員：お金のことが書いてあれば目を通すと思います。先ほどおっしゃったように、最初にインパクトを与えるには、例えば地球温暖化で南極の氷が融け、水位が  
どれだけ上がるのかといった怖いことや、天気予報についても真夏の平均温度が36℃から40℃になるという言い方が、インパクトがあると思います。

委員：極端な話、地球温暖化の効果として、グリーンランドの氷が融けたらどうなるか  
といった方がわかりやすい。

委員：怖がらせたい訳ではないが、インパクトを与えて読んでいただくのが目的です。

委員：要は見せ方の問題ですね。それを皆でやるのか、あるいは行政主体でやるのか  
という論点もあります。どこを強調したいのか、2ページの「A」とは何なのか、検討しなければいけないと思います。

委員：概要版をどう使っていくのか、イメージして作成する必要があると思います。  
内容についての補足で、2ページの、目標を達成するにはどのくらい減らす必要があるかというところで、車を持ってない人やオール電化、ガスがない家庭  
もありますがそういった家庭はどうなるのでしょうか。そういったことへの配慮も必要だと思います。

事務局：当然色々なケースがあり、それぞれのケースについて示すのは大事なことと思  
いますが、紙面の制約上、一番一般的な家を想定して載せております。

委員：8ページのエコドライブについても、想定されているのは燃費の悪い車です。  
京田辺市は燃費の良い軽自動車が多いので、実情とあっていないように思いま  
す。

- 委員：7ページのエコクッキングのところ、イラストを使うのは分かりやすいが、料理や片づけをするイラストが女性だけなのが今の時世に合っていないように思います。
- 事務局：代替のイラストがある場合は差し替えさせていただきます。
- 委員：作成した概要版をどういう風に普及させていくか、どうフォローしていくかが一番の問題ですね。
- 委員：エコライフをやっている方の取組発表会を行い、優秀な取組を決めるようなアクションがあるとよいと思います。
- 委員：私はごみ出しの表を冷蔵庫に貼ってごみ出しを行っており、身近なところに置いているから良く見ることができます。今後こういった身近に置いておけるもので普及するのはどうでしょうか。また、小中学生に教育の一環として配布するなどすれば、将来の取組にも繋がると思います。
- 委員：よいですね。例えばエコドライブの取組をステッカーにして車に貼るのはどうでしょうか。
- 委員：ちゃんと見て貰える、つけて貰えるものを作る必要があると思います。私の会社では停電になっても光る樹脂を作っており、電気の消し忘れや消したことの確認などに使えます。こうした楽しみ、付加価値をつければ子どもも喜んで取り組めるのではないかと思います。
- 司会委員：貴重な意見として今度の参考にさせていただきます。
- 委員：子ども向けのもの何か考えていますか。
- 事務局：この計画は5年あるので、今年度以降の取組として検討させていただきます。また、現状該当する取組としてはパートナーシップがあり、ゴーヤなどを使ったグリーンカーテンなどの啓発活動を行っています。
- 委員：子どもについて、4年生の時に環境問題について学ぶ授業があるので、その時に活用できるとよいと思います。
- 委員：子ども向けだけでなく、お母さん版、お父さん版なども作成してはどうでしょうか。
- 委員：最終目標の2050年は私たちではなく子どもが主体となってくるので、どう伝えていくかが重要だと思います。
- 委員：30年後には車も変わって電気が主要になってくると思いますので、社会情勢を踏まえ、電気に重点を置いて取組を進めてはどうでしょうか。
- 委員：京田辺にはオール電化の家庭が多いのも特徴で、エコキュートなどの普及も大事だと思います。
- 委員：地域の町内会などでもこうした取組みについて話し合う場があるとよいと思います。
- 委員：概要版の9、10ページの事業者の取組は必要でしょうか。
- 事務局：概要版は市民をメインとしています。会社勤めの方や商店を営んでいる方もいらっしゃると思いますので、そういった事業者の方に見て頂けるページも設けてい

ます。

委員：事業者の取組については、管理者だけでなく従業員全員に知ってもらう必要があり、一般の方にも知ってもらうことが重要だと思います。子どもにも読めるようなものであれば、取組について家族で話し合うこともできます。ですので、この概要版を基に皆で話し合いができるかといった、そういった場が作れるかが重要ではないでしょうか。

委員：事業者の取組について、例えば企業の名前を出した冊子をつくり、配布するような取組が行われています。市でも先行事例としてまとめ、配布することも検討してはどうでしょうか。

司会委員：ありがとうございます。それでは最後に事務局、よろしく願いいたします。

### (3) その他

事務局：本日も長い時間ありがとうございました。8月の第1回目から本日まで皆様に多大な協力を頂いたことを改めてお礼申し上げます。計画については5月末までに完成させて6月が始まるのと同時に公表を予定しております。また、完成しましたら皆様のところにもお配りしたいと考えております。今後作成したこれらをどう普及させていくか、取組を進めるか検討していきたいと考えております。

また、今年度中にもう一度この会議を開催させて頂き、計画を作成した後の進捗報告をさせていただきたいと考えておりますので、ご協力お願い致します。これで第5回の『京田辺市地球温暖化対策実行計画推進委員会』を終了いたします。本日はありがとうございました。

### < 5. 閉会 >

以上